hello Good-bye
SAN

『hello Good-bye』

1.ハロウ
2.Virtual “GENDAIJIN” 2.0
3.ハートのかたち
4.僕らの関係
5.シャドウ
6.君の欲しいもの
7.真夜中のおしゃべり
8.妄想電波障害
9.グッデイグッバイ

ハロウ

作詞・作曲：cue

カーテンを閉めた窓の向こう
街はすでに動き出している
この部屋に取り残されたような
錯覚がゆっくりと忍び寄る

不安を掻き消すように
何度も繰り返している
ここにいることを
気付いて欲しいのさ

ハロウ ハロウ
届いているかい？
君の姿は見えないけど
ハロウ ハロウ
聞こえたなら
そっと手を振って応えてくれよ
ひとりぼっちじゃないと
教えてよ

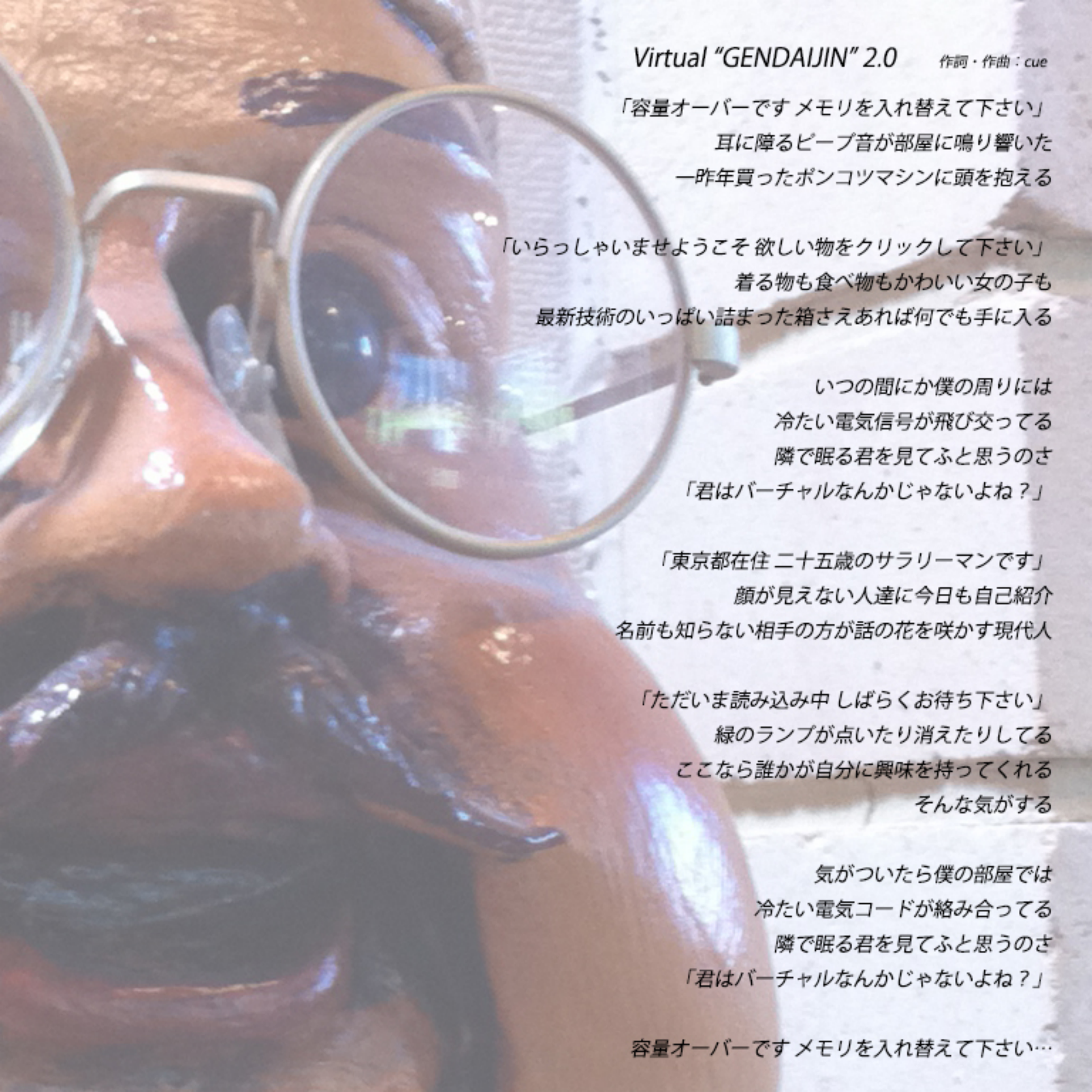
夕立は街の音を消して
ため息の輪郭を鮮明にする
この窓は僕と世界を隔てて
やがてゆっくりと沈んでゆく

不安を拭い切れず
何度も繰り返している
ここにいることを
気付いて欲しいのさ

ハロウ ハロウ
届いているかい？
君には会いに行けないけど
ハロウ ハロウ
僕たちは
どんな糸で繋がっているかな？
どんな音で響き合っているかな？

カーテンの隙間から覗いた街並
ビルの真上 真っ青の中に真っ白い光

ハロウ ハロウ
僕たちの
世界はやがて消えるけど
ハロウ ハロウ
届いているかい？
君の姿は見えないけど
ハロウ ハロウ
聞こえたなら
そっと手を振って応えてくれよ
ひとりぼっちじゃないと
教えてよ



Virtual “GENDAIJIN” 2.0

作詞・作曲：cue

「容量オーバーです メモリを入れ替えて下さい」
耳に障るビープ音が部屋に鳴り響いた
一昨年買ったポンコツマシンに頭を抱える

「いらっしゃいませようこそ 欲しい物をクリックして下さい」
着る物も食べ物もかわいい女の子も
最新技術のいっぱい詰まった箱さえあれば何でも手に入る

いつの間にか僕の周りには
冷たい電気信号が飛び交ってる
隣で眠る君を見てふと思うのさ
「君はバーチャルなんかじゃないよね？」

「東京都在住 二十五歳のサラリーマンです」
顔が見えない人達に今日も自己紹介
名前も知らない相手の方が話の花を咲かす現代人

「ただいま読み込み中 しばらくお待ち下さい」
緑のランプが点いたり消えたりしてる
ここなら誰かが自分に興味を持ってくれる
そんな気がする

気がついたら僕の部屋では
冷たい電気コードが絡み合ってる
隣で眠る君を見てふと思うのさ
「君はバーチャルなんかじゃないよね？」

容量オーバーです メモリを入れ替えて下さい…

ハートのかたち

作詞・作曲：cue

さっきまで見ていた夢はもう忘れた
なんだか悲しい夢だった気がするけど
何も覚えてない
何も何も思い出せない

子供の頃なら忘れはしなかった
夢の中でなら空だって飛べた
だけど今はできない
空の飛び方思い出せない

真夜中にやっていたホラー映画の中
あっけなく死んでった村人Aみたいだ
僕の体の中は
どんな　どんな色かな？

さあ早く僕の心臓をえぐり出してよ
この胸の内側が破裂しそうさ
ほら　どんなふうかな？
ハートのかたち

その手で僕の心臓を掴みとってよ
この胸の内側の赤い塊は
ほら　どんなふうかな？
ハートのかたち

子供のままじゃいられないし
でも大人にもなりきれないし
やらないままじゃいられないし
でもいざとなると動けないし
好きなことはたくさんあるし
でも嫌なこともたくさんあるし
悩んでるような時間はないし
逃げてもどうにもにならないことは
わかってる

その手で僕の心臓を掴みとってよ
この胸の内側の赤い塊は
ほら　どんなふうかな？
ハートのかたち

僕らの関係

作詞・作曲：cue

「なんかもうどうでもよくなった」
なんて急に言うもんだから
いつもの別れ話じゃないのはわかった

僕は平静を装って話を
聞こうとするけど
なんでかうまく頭に入ってこないや

君が真面目に話してること
わかってるんだけど
集中すればする程
余計なことを考えてる

ここで僕らの繋がりが
いきなり途切れてしまうなんてね
ウソみたいだ 信じられないよ
悲しそうな目をするなら
そんな事言わなきゃいいじゃないか
今日で終わりかい？
僕らの関係

どうしたら2人がやり直せるかを
考えたとこで
どうにかなりはしないのはもうわかった

君が涙浮かべているのも
気付いてるんだけど
今この場で僕が優しくするのは
違う気がするよ

不思議だね この繋がりが
こんなに長く続いたなんてね
ウソみたいだ 信じられないよ
涙の理由は知りたくない
きっと僕のそれとは違うから
これで終わりだね
僕らの関係

「なんかもうどうでもよくなった」
なんて急に言うもんだから
いつもの別れ話じゃないのはわかった

シャドウ

作詞・作曲：cue

この目に映る世界の光が 明日消えてしまうかもしれない
疑う余地の無い真理によく似せた 存在感が邪魔をしてくるよ

こんな夜をあとどれだけ
繰り返してゆくのだろうか

躓いて転んでしまって 抱えてたものを全部ぶちまけた
嗚呼 真っ暗で何も見えないよ
大事なもの そうじゃないもの 区別のつかないあやふやなもの
さあ君が照らしておくれよ
その光に潜む シャドウ

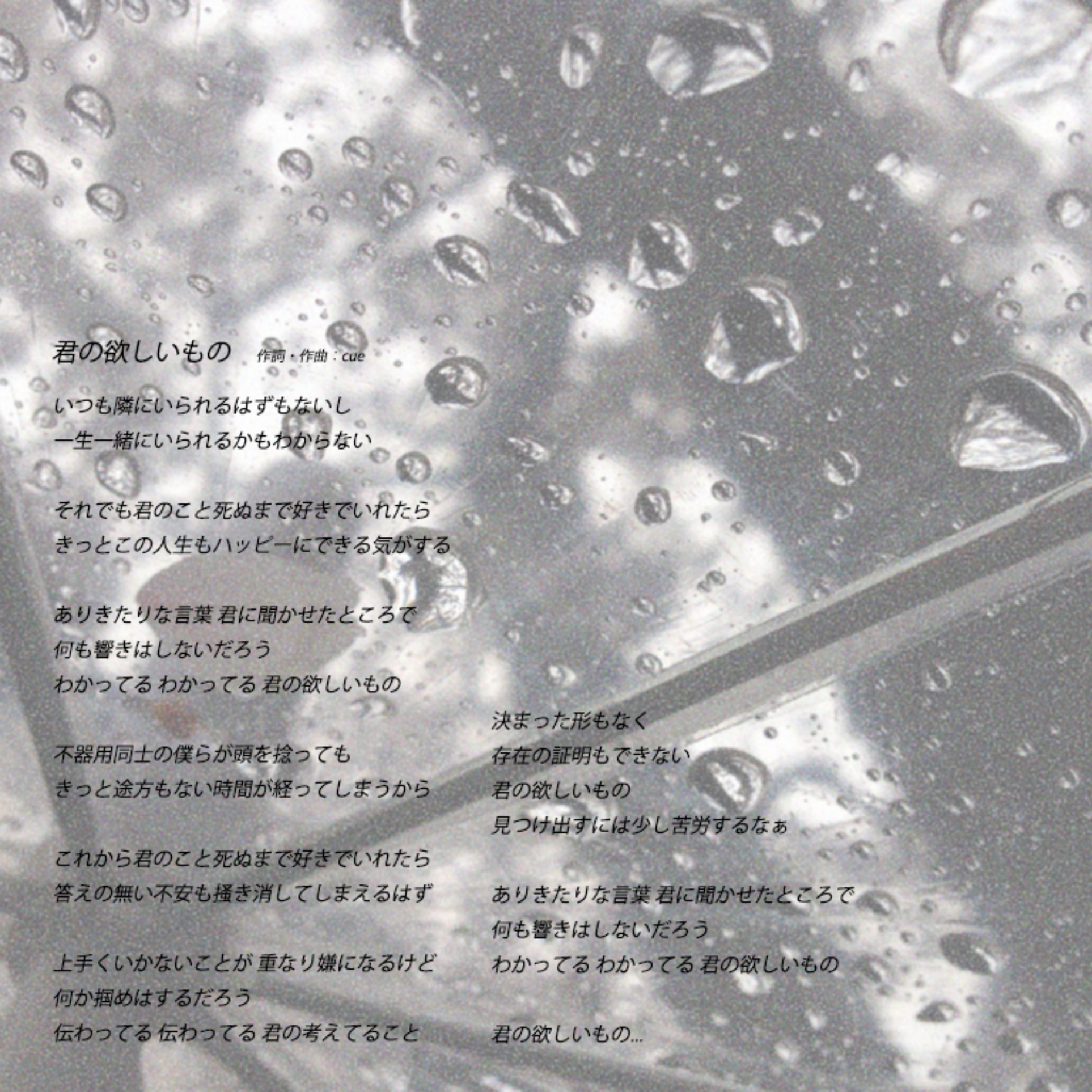
僕が手にしたこの輝きも 明日消えてしまうかもしれない
ふとした瞬間に手を離したら もう二度と捕まえられない

どんな風に触れたらいいのか
また君の反応をうかがって

置いたまま忘れてしまって そのままここで雨ざらしにしてた
嗚呼 誰かのせいにもできない
触れるもの そうじゃないもの 目にも見えない様な不確かなもの
さあ君が導いておくれよ
じわり 沁み込む シャドウ

気付かぬうちに溶けてゆくよ
知らない間に混ざっているよ

躓いて転んでしまって 抱えてたものを全部ぶちまけた
嗚呼 真っ暗で何も見えないよ
大事なもの そうじゃないもの 区別のつかないあやふやなもの
さあ君が照らしておくれよ
その光に潜む シャドウ



君の欲しいもの

作詞・作曲：cue

いつも隣にいられるはずもないし
一生一緒にいられるかもわからない

それでも君のこと死ぬまで好きでいれたら
きっとこの人生もハッピーにできる気がする

ありきたりな言葉 君に聞かせたところで
何も響きはしないだろう
わかってる わかってる 君の欲しいもの

不器用同士の僕らが頭を捻っても
きっと途方もない時間が経ってしまうから

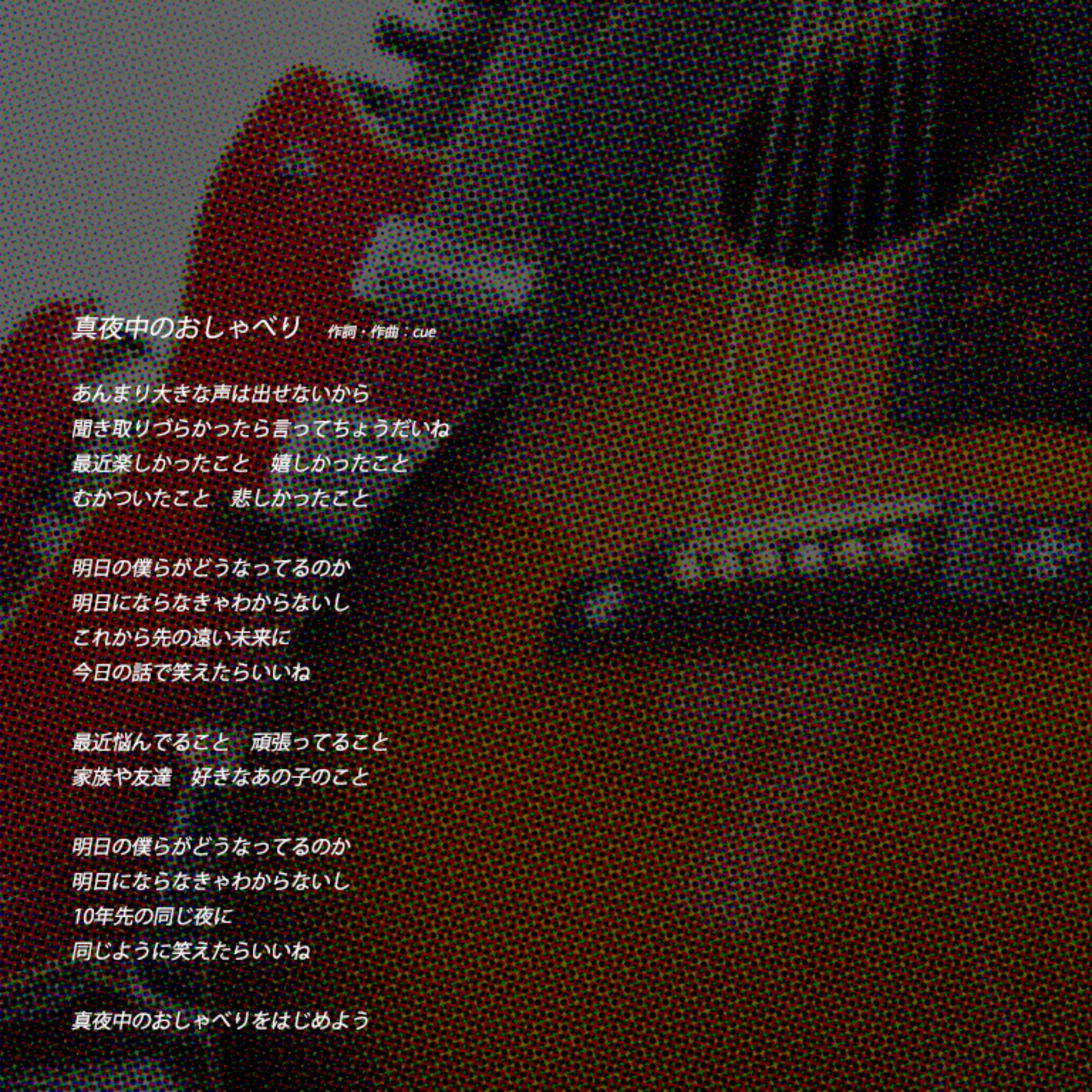
これから君のこと死ぬまで好きでいれたら
答えの無い不安も掻き消してしまえるはず

上手くいかないことが 重なり嫌になるけど
何か掴めはするだろう
伝わってる 伝わってる 君の考えてること

決まった形もなく
存在の証明もできない
君の欲しいもの
見つけ出すには少し苦労するなぁ

ありきたりな言葉 君に聞かせたところで
何も響きはしないだろう
わかってる わかってる 君の欲しいもの

君の欲しいもの...



真夜中のおしゃべり　作詞・作曲：cue

あんまり大きな声は出せないから
聞き取りづらかったら言ってちょうだいね
最近楽しかったこと　嬉しかったこと
むかついたこと　悲しかったこと

明日の僕らがどうなってるのか
明日にならなきゃわからないし
これから先の遠い未来に
今日の話で笑えたらいいね

最近悩んでること　頑張ってること
家族や友達　好きなあの子のこと

明日の僕らがどうなってるのか
明日にならなきゃわからないし
10年先の同じ夜に
同じように笑えたらいいね

真夜中のおしゃべりをはじめよう

妄想電波障害

作詞・作曲：cue

雑音まみれの空想
夢に溢れた想像
空を飛べるのはいつ？
嘘を吐いたのはどいつ？

その心の声に耳を傾けろ

「できない事ない」の幻想
「願えば叶う」の偶像
誇らしげな雄弁者と
胡散臭げな宗教家

「行けばわかるさ」は正しいやり方

妄想 空想 現実逃避でもしましょうか
過去 現在 未来 全部クリアーしよう

当たり障りのない感想
そんなことじゃ進歩しないぞ
大事なことってなんだ？
「知らぬが仏の真実」

アクが強い世界は正しさも泡と消える

単純明快 愉快痛快 気分爽快
妄想電波飛ばして どこかへジャンプしよう

世の中全てが妄想
僕の考えた物語
終わりはまだ書いてない
もしかしたら終わらない

妄想電波障害 気にしないで行こう
どんな困難だって 飛び越えるよ
妄想 空想 そうさイメージはきっと無限大
妄想電波飛ばして どこかへジャンプしよう

グッデイグッバイ

作詞・作曲：cue

穏やかな朝を迎えたよ
ずいぶんと久しぶりだなあ
君があの時に言ってたこと
今ならなんとなくわかる気がするよ

大人になるってこういうことなんかなあ？

グッデイグッバイ グッデイグッバイ
僕は探してるよ
グッデイグッバイ グッデイグッバイ
新しい日々の始まる予感を

限りある時間の中で 僕ら
出会いや別れを繰り返してゆく
君に聞き忘れていたことや
言いそびれていた言葉さえ

気付けば"理由"に変わっているのさ

グッデイグッバイ グッデイグッバイ
ここに繋がってるよ
グッデイグッバイ グッデイグッバイ
いつかまた会えた時にはセイハロウ

たぶん僕が知りたいことの
ほとんどは知らないままに死んでゆくんだろう
それでも君と出会ったことで
全部チャラにできてしまいそうだよ

グッデイグッバイ グッデイグッバイ
僕は探してるよ
グッデイグッバイ グッデイグッバイ
新しい日々の始まる予感を

グッデイグッバイ グッデイグッバイ
ここに繋がってるよ
グッデイグッバイ グッデイグッバイ
そしてまた会えた時にはセイハロウ

hello Good-bye
hello Good-bye
hello Good-bye
hello Good-bye